

第6回

ひきこもりを理解する講演会

この事業は、
赤い羽根共同募金を
活用しています。



受け入れられる喜び、 望む役割がある喜び

～社会に対するひきこもり経験者や

精神疾患者としての想い～



このたび、第6回となるひきこもりを理解する講演会を開催します。

今回は、馬場貴裕さんと馬場律子さんを招いて、「受け入れられる喜び、望む役割がある喜び ～社会に対するひきこもり経験者や精神疾患者としての想い～」と題して講演していただきます。

ひきこもりは私たちの身近にあることです。この講演会で、多くの皆さんにひきこもりに対する理解を深めていただくことにより、地域みんなで支えあうまちづくりを進めていく一助になればと思います。

入場無料で、申し込みは不要です。ぜひ、ご来場ください。

と き 令和2年 **2月23日** (日・祝)

午後1時30分～3時15分

ところ 庄原市西城保健福祉センター **しあわせ館**

2階 こだま・やまびこ (西城町中野1339番地)

講 師 KHJ岡山きびの会 会長 **馬場 貴裕さん**

あすなる福祉会ピアセンター クローバー

ピアスタッフ **馬場 律子さん**



会場は
西城市民病院の
隣です

※講師プロフィール・問い合わせ先等は裏面に記載しています。

●講師プロフィール●



ばば たかひろ 馬場 貴裕さん (KHJ岡山きびの会 会長)

人生で4度、通算で10年以上のひきこもり歴、第2次ベビーブーム世代で、バブル崩壊後にフリーターとして就職し、40歳を超えてのひきこもり期に、心療内科を通じて福祉関係の“居場所”につながるが、精神障がい者が主で、発達障がい者としてはなじみ難い中で、知り合った友人の「ばばちゃんにとっての苦しみ」という個性の受け止め

の言葉と、別の友人のS O Sから始めた「ピアサポート※」が、自身の苦しんだ経験が社会的に希少な価値があるからこそできることで、自分の過去と個性の肯定にもつながることを知り、リカバリーが加速する。

現在は、福祉職に就く一方で、「個性を尊重されることが人のリカバリー（元気の回復）につながる」という考えで、ピアサポートとWRAP（ラップ：元気回復行動プラン）の活動に力を入れており、広島市西区でも、「CROSS ROAD」に場所を借りて、ひきこもり中心の当事者会を立ち上げ、アドバイザーを務める。

☆特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会について・・・KHJの略称は、平成26年度からKazoku Hikikomori Japan（家族・ひきこもり・Japan）に改訂されました。「日本で唯一の全国組織の家族会（当事者団体）」という意味です。KHJでは、ひきこもりを抱えた家族・本人が社会的に孤立しないよう、全国の家族会と連携し、行政に働きかけながら、誰もが希望を持てる社会の実現をめざしています。

ばば りっこ 馬場 律子さん (あすなろ福祉会ピアセンタークローバー ピアスタッフ)

統合失調症と双極性障害のキャリアを持つ。入院歴2回。発病から12年後に初めて入院に至ったことにより、作業所を利用する決心をし、「あすなろ」を利用し始める。

入院時にできた友人とのやりとりにつまずいていた時、「ピアサポート」という概念に出会い、「これだ！」と思い、ピアサポーターとして活動し、自身の成長とリカバリーを実感する。

現在、あすなろ福祉会のピアスタッフとして雇用。仲間と共に活動することで、互いに刺激を受けつつ、ピアサポーターがもっと社会的に認められることを夢見て努めている。

※「ピアサポート」について・・・同じような経験をした者同士が、対等で共有・共感できる立場から互いにサポートすることです。専門職の支援とは別視点のアプローチとして、当事者のリカバリーを支えています。

主 催 西城ひきこもり支援の会 太陽の会（家族の会）

西城町自治振興区連絡協議会

共 催 庄原市社会福祉協議会西城地域センター

西城地区民生委員児童委員協議会

庄原市ひとり暮らし高齢者等巡回相談員西城地区協議会

庄原市役所西城支所

この事業は、
赤い羽根共同募金を
活用しています。



●問い合わせ●

庄原市 西城支所 地域振興室 保健福祉係

〔西城保健福祉センターしあわせ館〕 電話(0824)82-2202